



行政と防災の新拠点に

— 市制75周年記念
新庁舎完成式典 —

4月30日に鹿沼市役所新庁舎の完成式典が行われ、福田知事をはじめ、県内各市町長、県外交流都市の関係者らが出席し、新拠点の完成を祝いました。

式典では、ふるさと大使である平野早矢香さんがロンドン五輪後に行われた鹿沼市内でのパレードの思い出を語りました。式典後には、鹿沼秋まつりの彫刻屋台が繰り出し、「ぶっつけ」が行われるなど、大いに盛り上がった式典となりました。

可憐な花が咲き誇る 花と緑のフェスタ開催

— 鹿沼市花木センター —

4月22日～5月7日、市花木センターで「花と緑のフェスタ2023」が開催され、7色の傘をワイヤーで吊る「アンブレラ・スカイプロジェクト」や魅惑のバラ展などさまざまな催しが開かれました。

特に、見ごろを迎えた約3万本のルピナスの丘では、朝早くからたくさんの方が訪れ、色とりどりのルピナスの花と甘い香りを楽しんでいました。



芸術文化を活かしたまちづくり

— 鹿沼版地域おこし協力隊 委嘱式 —

市では「制作活動や教育普及事業、地域の芸術活動支援を行いながら、市民とともに地域活性化に取り組んでいくこと」をミッションとして、新たに保坂朱音さんを地域おこし協力隊に委嘱しました。

学生時代に陶芸制作や教育普及活動に取り組んできた保坂さんは、その経験から麻灰や深岩石といった地域資源を活かした作品作りや文化振興への展望を熱く語りました。

